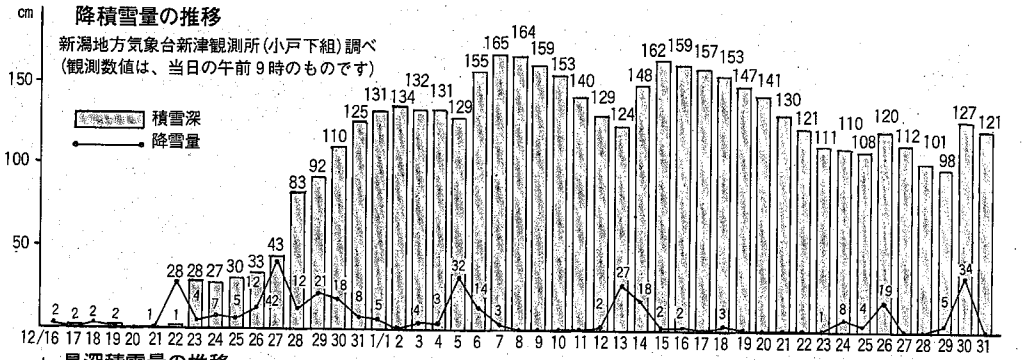
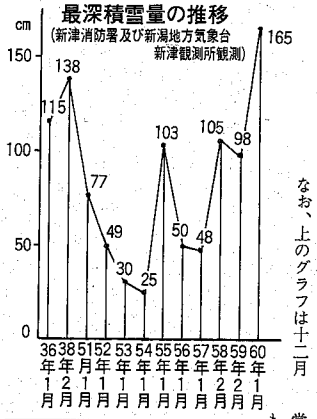




除雪費が2億3400万円に

観測史上最大の豪雪直撃

市民生活に大きな混乱をもたらした豪雪も、すっかり落ちつきました。道路の両側や家のまわりにうず高く積もった雪は、ほとんど消え去り、それに合わせるように、昨年末に設置された豪雪対策本部も、二月十六日に解散しました。

そこで今号では、この豪雪をいま一度振り返ってみようと思います。なお文章中の気象観測数値は、新潟地方気象台新津観測所（小戸下組）のものです。

最深積雪量は一六五センチを記録

昨年の十二月二十一日から降り始めた雪は、大雪警報が連日のように出されるなか、間断なく降り続き、一月七日には積雪深が一六五センチを記録。38豪雪をも上回る豪雪となりました。

暖冬が一変して豪雪となり、しかも年末から年始にかけての降雪だっただけに、市民生活にも大きな影響が出ました。そこで、市では十二月二十九日に豪雪対策本部を設置し、雪による災害の防止に努めてきました。

なお、上のグラフは十二月と一月の降雪の様子を、左のグラフは過去の最深積雪量を表したものです。

機械力総動員で除雪作業を推進

一月末までの累積降雪量が三四八センチを記録するなかで、市では、市民生活に支障をきたさないようにと、機械力を総動員して除雪作業にあたってきました。その結果、除雪費は当初見込んでいた三千六百万円を軽く突破。一億九千八百六十四万円を追加し、二億三千四百六十四万円になりました。

しかし、集中豪雪という異常なまでの降雪のため、除雪も思うにまかせず、市民の皆さんからも自己防衛努力などの協力をお願いしました。

住宅破損などの被害も多数発生

雪による事故では、当市でも七件の救急搬送があったほか、住宅の一部破損やビニールハウスの倒壊なども多数発生しています。また、一月九日には最低気温マイナス一五・一度を記録。水道管の凍結破裂事故も相次ぎ、一月末現在で六百二十件の修理を受け付けました。

なお、今冬の真冬日（最高気温が零度未満の日）は、一月末までに十五日を数えています。

交通事故の半数以上がスリップ

スリップによる交通事故も多発し、新津警察署管内の一月中の交通事故は、人身事故十二件、物損事故百四件となりましたが、このうちスリップによるものが半数以上を占めるという結果となりました。

さる二月十八日、市議会、二月臨時会が開かれました。追加されたものは、今冬の除雪費です。

今回の議会では、一般会計予算に一億九千八百六十四万円を追加す、このほか、一般会計に一億九千八百万円を追加す、文教経済委員会に加藤公部氏（無所属）が所属することが決まりました。

なお、今年度の一般会計減入・歳出予算は、百十七億三千百八十七万六千円になりました。

お買物、ご用命は市内で

春の香りいっぱいにのせて……
八朔、いよかん、甘夏
ビタミンCたっぷりのさわやかな味
一日一個で心も体もフレッシュに！
フレッシュでおいしい果物の店
やまいし
新津市本町3　TEL3-0397

※クレジット３回～36回払い
※ボーナス一括払い
カメラ・ビデオ・カラープリント・カメラ用品の専門店
(株)カメラのサカツメ
本店　新津市本町４丁目５・６　TEL2-0045
新町店　新津市新町１丁目２-29　TEL2-2484
営業時間
本店　9:00～19:30（年中無休）
新町店　9:00～18:30（日曜日休日）

国民年金法が一部改正に―＊

年金額アップで老人などの福祉の向上を

最近の社会経済情勢により、国民年金法の支給に関する法律の一部が改正されました。今回の改正は、拠出制国民年金の年金額について、昭和五十九年度におけるスライドの特例的な措置として年金額を二・〇％引き上げることと、福祉年金の額を引き上げることにより、老人などの福祉の向上を図ることを目的としたものです。改正の内容と改正額は左下の表のとおりです。

昨年五月にさかのぼってスライドを実施

昭和五十七年度と五十八年度の累積消費者物価上昇率が五％を超えなくても、昭和五十九年度における国民年金の年金額のスライドが、特例的に実施されることになりました。この場合のスライド率は二・〇％で、昭和五十九年五月にさかのぼって実施されました。

障害年金と福祉年金も引き上げに

一級障害年金が七十二万七千三百円、二級障害年金が五十七万三千八百円にそれぞれ引き上げられました。また、母子年金も七十五万三千六百円に引き上げられ、子どもが二人以上いるときは二人目に六万円、三人目以降は一人につき二万四千円が、加算されます。

なお、夫の死亡により他の年金制度から遺族年金を受けられない妻は、母子年金の額に母子加算額十八万円が加算されます。

四月から保険料が六千七百四十円に

スライド改正令の施行に伴い、昭和六十年四月から六十一年三月までの保険料の額が、一か月六千七百四十円になります。

福祉年金額は昨年六月分から引き上げに

福祉年金の年金額は、昭和五十九年六月分以降から引き上げられました。

年金額比較表

項目＼年度	58 年額	58 月額	59 年額	59 月額
スライド率	――		2.0%	
年金額	円	円	円	円
〔国民年金〕				
10年年金	357,500	29,792	364,500	30,375
5年年金	304,300	25,358	310,300	25,858
17年加入（現行最長期間加入者・単身）	454,500	37,875	463,500	38,625
障害年金（1級）	703,500	58,625	717,300	59,775
〃（2級）	562,800	46,900	573,800	47,817
母子年金	742,800（母子 562,800 母子加算180,000）	61,900	753,800（母子 573,800 母子加算180,000）	62,817
〔福祉年金〕				
老齢福祉年金	301,200	25,100	307,200	25,600
障害福祉年金（1級）	452,400	37,700	460,800	38,400
〃（2級）	301,200	25,100	307,200	25,600
母子福祉年金	392,400	32,700	399,600	33,300

荻川地区で二百人増加

五十九年の人口の動きから―＊

昨年一年間の新津市の人口の動きがまとまりました。

昨年一年間で新津市の人口は三百八十二人増え、十二月三十一日現在で六万四千六百六十五人（住民基本台帳から）となっています。

当市の人口は毎年着実に増えていますが、一年間の増加人口をみてみると、昭和五十二年の九百八十五人をピークに、それ以後は毎年減り続け、人口伸び率はペースダウンしてきています。しかし、八十九人増にとどまった一昨年に比べると、昨年は三百八十二人増ですから、ペースダウンを続ける人口伸び率に歯止めがかかったといえます。

昨年一年間の出生、死亡、転入、転出はそれぞれ左の表のとおりです。五十八年に比べ、出生は四十二人の増、死亡は三十七人の増となりました。また社会動態（転入―転出）は、転入が一昨年より百四十九人増の千九百八十人、転出が百三十九人減の千九百八十人で、差し引きゼロを記録。昨年のマイナス二百八十八を大幅に上回りました。

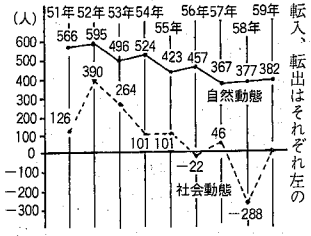
一方、世帯数は百五十五世帯増え、十二月三十一日現在で一万六千七百八十六世帯になりました。

また、人口の動きを地区別にみると、昨年一年間で最も人口が増えたのは、荻川地区の二百人。次いで新津地区の百十人、金津地区の八十六人、阿賀・満日地区の五人、小合地区の三人が続き、逆に減ったのは、新関地区の二十二人です。

昭和59年中の人口の動き

区分		男	女	計
自然動態	出生	413	385	798
	死亡	240	176	416
社会動態	転入	954	1,026	1,980
	転出	985	995	1,980

自然動態、社会動態の移り変わり



お買物、ご用命は市内で

3月3日 ひなまつりお菓子
◎ひし型デコ……1,500円
◎丸型デコ　○5号（直径15cm）…1,500円　○6号（直径18cm）…2,200円
◎生クリームデコ　○5号（直径15cm）…2,000円　○6号（直径18cm）…2,800円
◎生クリームのデコは予約のみですので予約はお早めにお願いいたします。
にいつ　サカヤ　TEL 2-0112　新津市本町2